



こんにちは

村田けい子です

2017
12.22
No 133

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

道の駅「女神の里 たてしな」グランドオープン！ 12月16日 消防のラッパ隊によるファンファーレで開幕



15日、国土交通省より「道の駅」として正式に登録された登録証の伝達式



道の駅全景。県産の材木が使われている。温かい雰囲気である。



ラッパ吹奏で
景気づけ



小学校のブラスバンドによる演奏



入って右手には情報コーナー、立科町を紹介する画像が流れている。スター、チラシ、ポスターも置く。



農ん喜村のアップルパイ、クレープ、お茶、海産物など美味しい食品が並び、先着250人には特製どら焼きがもらえた。子どもにはぬいぐるみのおもちゃなどプレゼント。風船も嬉しい。

24時間のトイレ・休憩所・情報コーナー

トイレを拝見

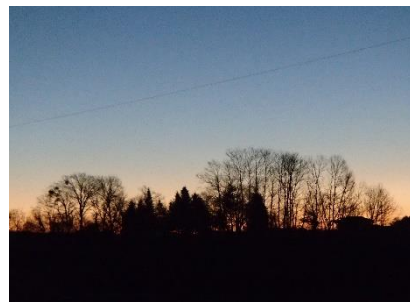
男女いずれのトイレにも、乳児の座るコーナーがある。



陶器でできた手洗い。全面白で統一されている。



オストメイト対応の多機能トイレ（上）オムツ替えのできるコーナーもある。（右）



影絵のような
シルエット

今週のパチリ

木の葉はすっかり落ちて、梢までもはっきりと浮かび上がる木立。朝の光が満ちる前の『彼は誰』時。空は夜の闇が朝の光に追いやられようとして絶妙のバランスで木立のシルエットを浮かび上がらせている。

空気は凍り付いたように張りつめ、刻一刻と朝日が挿して、闇の色は追いやられる。氷点下の気温でも吐く息が白くならないのは、水の核となるチリがないほど澄み切っているためだそうです。

子どもたちの歓声が響いた

『若い世代＋支える地域』

「JOY JOY VILLAGE」inふるさと交流館

ワークショップ（手作り・体験型）がたくさん用意され、楽しめた。



歓声が響く
キッズスペース

端切れで作るお手玉

縄をなってクリスマスリースに好きなパーツを埋め込む

大勢の子どもたちでにぎわったイベント



チューリップの会による読み聞かせ・子どもたちへの歌が夢中になっ



松ぼっくり・貝細工・梅モドキなど自然素材の花や草・木の枝などがたくさん。



好きな図柄を電気ごてで焼き付けてもらう。

地元のお店の
よるおパ
カビツエ
ガジツエ
並んだ
おぎん
はぎん
おはぎ
汁振舞
れも振舞



織物体験

第2回 「お楽しみクリスマスin 西塩

地域のお宝満載！見て、食べて、聞いて、歌って、元気の出たクリスマス会でした。



元気な太鼓。途中で体操もあり笑いに包まれた。



ミュージックベルがクリスマスらしい



自然素材のオブジェ・クリスマスリース



手作りスモークチーズ・クワイ、干し柿、えごまなど自慢の手作り品が並んだ。



ステージ前のプレゼントボックスにはたくさんのプレゼントが積まれた。



たくさんさんのサンタさんもいっしょに楽しんだ。



クラフト工芸の手提げ籠



お正月に「棒締め」

KSCのメンバーの活動紹介ビデオが流され、理解が進む。難病や障害にもめげずに頑張っている。



メインゲストのLGBTのみなさん「KSC」



UVレジンを使ったアクセサリー、ストラップ、ピアスなど



命を燃やして、難病に立ち向かう。会場は感動に包まれて「ガンバレ！」の声援が。

